働きたい人みんなが働けるまちを目指して！

はたらくきずな

vol.18
2022.6.25
富士市ユニバーサル就労支援センターが発行する情報誌

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

富士山とともに 輝く未来を拓くまち

SDGs 未来都市 富士市

富士市ユニバーサル就労支援センターの取り組みは、SDGsに貢献しています

富士市は2020年7月17日に、国の「SDGs未来都市」に選定されました。“富士市ユニバーサル就労支援センター”は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標のうち、「1.貧困をなくそう」、「8.働きがいも経済成長も」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献しています。

CONTENTS

富士市ユニバーサル就労支援センターに行ってみよう！

当センターご利用の流れをマンガで解説

■わたしの一歩

行動できたことが自信になり、次の行動につながって——

■アンケート実施

「かんづめフェスタ」にて

■ユニバーサル就労支援センター支援状況

令和3年度は124名の利用者が就労しました

新たに認定登録された協力企業の紹介

2022年5月25日現在

認定番号	企業名	業務内容
186	株式会社エーエムティ	プラスチックの成形･加工及び金属加工
187	富士木材株式会社	段ボール製品･木製品の製造及び倉庫業
188	株式会社 鈴昇メタル	金属リサイクル業
189	有限会社 坂内商店	製紙原材料･古紙リサイクル
190	丸富製紙株式会社	トイレットペーパー、タオルペーパーの製造･販売
191	大協プラス株式会社 富士工場	プラスチックの成形･加工及び販売
192	朝比奈株式会社	電子制御ユニット･電子医療機器の製造

協力企業名は富士市のWEBサイト city.fuji.shizuoka.jpに掲載されています

「トップページ ＞ くらしと市政 ＞ くらし・手続 ＞ ユニバーサル就労 ＞ ユニバーサル就労推進事業 認定協力企業 」の、“認定協力企業一覧” のPDFデータでご覧いただけます

ユニバーサル就労は、企業の皆様の協力なくしては実現しません。日頃のご理解・ご協力に感謝しております。

ユニバーサル就労を推進するために欠かせないのが、雇用や就労体験の場を提供してくださる企業様の協力です。ユニバーサル就労に興味のある企業の皆様、ご連絡お待ちしております。

サポーター募集!!

富士市ユニバーサル就労支援センターではサポーターを募集しています。身近に困っている方がいたら是非「富士市にはユニバーサル就労支援センターがあるよ」とお声掛けをしてあげてください。

■登録料無料
■年会費無料

あなたが知ることで まわりの誰かが 知ることになります

富士市ユニバーサル就労支援センター 広報係
富士市ユニバーサル就労
〒416-8558 静岡県富士市本市場432-1 フィランセ東館1階
TEL 0545-62-7520
メール▶fuji-uw@tokaido-sigma.jp WEBサイト▶https://f-uw.com

■ アンケート実施

3月26日(土)･27日(日)の「かんづめフェスタ」で、「富士市のユニバーサル就労」シールアンケートを実施しました。

3月26日(土)・27日(日)に静岡ガス株式会社エネリアショールーム富士で、“学ぼう！防災・環境・地域のつながり”をテーマに「かんづめフェスタ」(共催：株式会社ホテイフーズコーポレーション、協力：富士市、富士商工会議所)が開催され、「富士市のユニバーサル就労」を知っていますかというシールアンケートを行いました。「富士市のユニバーサル就労」を「知っている」とお答えいただいた方は35人。約3割の方がご存知でした。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。ご存知なかった方にはチラシをお渡しし、説明を行いました。「富士市でこのような取り組みが行われているとは知らなかった」という感想もいただきました。

また事前のご案内により、来場された方々から食料品のご寄附をいただきました。ご提供いただいた食料品は富士市ユニバーサル就労支援センターにてお預かりし、生活にお困りの方のため大切に利用させていただきます。ありがとうございました。

「知らない」方にこそ、ユニバーサル就労を知っていただく機会となります

ご提供いただいた食料品は、生活にお困りの方のため大切に利用させていただきます

■ ユニバーサル就労支援センター支援状況

令和3年度は124名の利用者が就労しました。

富士市ユニバーサル就労支援センターの就労支援グループでは、令和3年度は289名の利用者に就労に向けた支援を行い、124名の方が就労を実現しました。

男女の割合では男性の相談が62%と多く、年代別では30代が全体の24%を占めています。続いて50代が22%、20代が20%、40代が18%と、稼働年齢層の働きづらさのご相談が多い結果となりました。

利用者の働きづらさは多岐にわたっており、様々な働きづらさを抱えておられます。「メンタル不調」が16%、「身体的な理由」が12%、「仕事が継続できない」が10%、「就労ブランク」「就労経験がない」がそれぞれ8%、「発達障害」が7%となっています。利用者の様々な働きづらさに向き合い、きめ細かな支援が必要不可欠となっています。

協力企業として新たに29社の企業にご登録をいただき、令和4年3月末日現在で187社となりました。

【新規利用者/年代比】

【新規利用者/働きづらさ内訳】

【協力企業業種内訳】※

※令和4年3月末日現在 全187社

はじめて支援センターを利用する際の流れを、マンガで解説 “富士市ユニバーサル就労支援センター”に行ってみよう！

「ステップアップ」編

「フィランセで、まずは相談」編

●一人ひとりに合わせた支援を行うのでキャリアカウンセリング(面談)を除き、すべての段階を経る必要はありません。
職場見学・就労体験・コミュニケーターを行ったからといって必ずしもその企業に応募する必要はありません。

■ わたしの一歩

富士市 Iさん
(製造業 35歳)

行動できたことが自信になり、次の行動につながって――

大学を中退後、就職しても短期間で辞めてしまうことを繰り返していたIさん。職場では分からない事を聞けず、仕事が長続きしませんでした。過去の経緯から、次第に応募への一歩を踏み出す勇気を失っていたIさん。そんななか当センターを訪れ、キャリア研修参加でコミュニケーションをとる機会を増やしたことで、苦手意識が軽減していきました。4社の職場見学に参加し、面談のなかで「できたこと」を就労支援員と一緒に確認することで自信を持ち、次の行動につながるという良いスパイラルができていきました。

その後5社目の職場見学に参加し、就労体験、コミューターと、徐々にステップを踏むことで就労に結び付きました。企業側の丁寧な対応や働きやすい職場環境が、これまでIさんが抱えていた不安を払拭し、現在も元気に就労を継続しています。